

文学部長／人文学研究科長  
齋藤文俊

現在、名古屋大学でもコロナの感染拡大が一段落しています。これは、本当に皆さんひとりひとりの努力と節制の結果だと感謝しています。

でも、「努力と節制」も長く続けていると疲れてしまいますよね。事態が一段落したように見える今こそが、まさにその疲れが出る時期なのかもしれません。そして、これからは、「ウィズ・コロナ」の状況で生活していかなければなりません。誰だって不安を感じてしまいます。

今、みなさんには、どんな不安があるのでしょうか。そして、その不安を口に出して話す機会がありますか？

現在のみなさんの状況や考えていることなどを、ぜひ私たち教員にも話してください。文学部・人文学研究科の良さは、研究室単位の少人数での指導です。以前は、コンパや合宿など、学生と教員が親しく話せる場がありましたが、この状況ではなかなかそれできません。本当に、ちょっとした雑談からでも結構です。色々とお話ししましょう。

もちろん、自分の研究室の教員じゃなくてもいいですよ。講義を聞いて興味をもったり、よく廊下などですれちがったりする教員と話してみるのも面白いかもしれません。

そして、教員にも話しづらいことがあったり、専門家の意見を聞きたいようなことが出てきたら、名古屋大学には「学生支援本部」というところも用意されています。

文学部・人文学研究科の教職員は全力でみなさんをサポートします。